

Title	理財学会会報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1924
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.18, No.3 (1924. 3) ,p.466(162)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑報
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19240314-0162">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19240314-0162</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

なり。(堀江歸一)

雜報

理財學會々報 二月六日午後二時半、舊演說館に於て理財學會例會を開く。三時間に亙りて次の如き奥井教授の講演あり。

一八六〇年思想轉期に於けるジョン・ラスキン 奥井復太郎氏

一八四三年「近世畫家論」出版後、建築藝術に轉じたるラスキンの中世建築の偉大を讚美せし「建築の七燈」に於ける社會主義的色彩「ヴェニス」の一章に於けるゴシック建築批評のウキリアム・モリスに與へし感動、彼の力説せし労働の幸福、或はカーライルとの交渉を説き、「タイムス」に寄稿せる彼の「租稅論」「選舉權論」等を紹介す。一八五三より彼は書齋を出でてエッセン・パロオにマンチェスターに、或は労働者大學に講演を試み、斯

くして美術批評より社會批評に轉じ、此の後至者にも」に於ける彼の經濟論は當時の經濟學者の論難の的となり、竟に一八四三年より一八六〇年に至る彼の名聲の全く覆されし事實を説き、而も依然として經濟論の著述も敢てし社會改良の態度を固持して改めざりしラスキンの風采を髣髴せしむ。  
閉會後、萬來舎に於て晚餐を共にし、漫談に時を久しうして散會す。出席者は奥井、金原、津田の諸教授並びに日比野、夏目、江越、和田、濱谷及び駒崎の諸幹事なりき。

前號(第十八卷)目次(大正十三年二月號)

論說

◎グラッカス兄弟(上) 高橋誠一郎

◎平等意思の學理的根據 瀧本誠一

◎直接配給の原理と其限度(上) 向井鹿松

雜錄

◎支那工業の現状に就て(一) 及川恒忠

◎「近世畫家論」第二卷より「建築の七燈」に至る迄(二、完) 奥井復太郎

◎リカード派社會主義概論(上) 津田誠一

◎自由主義以前 榎本鑑治

◎マルクスの價值論に對するBeerの批評 三邊金藏

●一冊定價金五拾錢  
●半年定價金貳圓九拾錢  
●一年定價金五圓四拾錢  
郵税金貳錢 郵稅共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛  
●營業に關する用件は發賣元宛  
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十三年三月十日印刷納本  
大正十三年三月十日發行  
每月一回一日發行

三田學會雜誌 第三十八卷 第八號  
編輯者 江田 範 保  
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
印刷者 金子 鐵 五 郎  
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地 金子 浩 版 所

發賣元 丸善株式會社三田出張所  
東京市芝區三田貳丁目壹番地  
電話高輪 一九二六  
尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 廢鐵義塾內 理財學會